

平成28年度事業報告

区 分	内 容
<p>1 基幹調査研究等事業</p>	<p>(1) 都市政策に関する調査研究</p> <p>① 総合研究</p> <p>ア 「福岡のグローバル交流拠点形成に関する調査研究：国際化推進からグローバル化推進へ」</p> <p>これまでの福岡のグローバルなポジションと成長戦略の研究をふまえ、アジアのリーダー都市となるために、福岡では今後どのような政策を強化していくべきかについて研究を行った。</p> <p>福岡は、国内他都市と比較して、グローバル経済の流れを受け容れる「インバウンド」交流ではある程度の強みを持つものの、付加価値をグローバルに移出するといった「アウトバウンド」交流では発展途上にあることを明らかとしたとともに、グローバル交流の拠点として、福岡が形成しているグローバル・ネットワークについて、膨大なデータ分析によって解明を行った。</p> <p>今後、福岡がグローバル交流拠点として発展するためには、福岡のグローバル・ネットワークをさらに活用するとともに、ネットワークを多様化しつつ、それぞれのネットワークを強化していく戦略の必要性について提案した。</p> <p>イ 『「市民総支え合い社会」]に向けての社会情報基盤整備に関する研究」</p> <p>福岡市の超高齢社会化に対応し、潜在需要が増加している市民家庭や市内企業から発生する「オンデマンド型」業務と、定年退職後の「アクティブシニア」との就労マッチングシステムを構築することによって、働く場、所得、生き甲斐、健康寿命を提供する、いわゆる“make work pay”政策の福岡市におけるあり方について提案した。</p> <p>② 個別研究</p> <p>ア 「福岡市におけるアジアビジネス支援政策に関する研究」</p> <p>福岡市との共同で福岡市内企業3,000社に対する「福岡市内企業の海外ビジネスに対する意向および取組実態に関するアンケート調査」を実施した。平成27年度の分析結果に今回の分析結果を加えた上で、アジア経済の構造変化、福岡市の位置づけ、個性・魅力を踏まえて、越境電子商取引手法を含む、福岡市地場企業のアジアビジネス支援政策のあり方について提案した。</p> <p>イ 「福岡・釜山の超広域経済圏における人材の育成・活用に関する研究」</p> <p>福岡市と釜山市の両地域において、近年その動きが活発化してきているスタートアップに関する交流に着目し、その現状を把握した上でヒアリング調査とアンケート調査を実施することによって、福岡・釜山超広域経済圏の形成に向けた人材の育成・活用における戦略の新たな方向性を提示した。</p>

区 分	内 容
	<p>③ 共同研究</p> <p>ア 日韓共同研究（日韓海峡圏研究機関協議会） 日本及び韓国の計 10 の研究機関で構成する日韓海峡圏研究機関協議会総会へ参加し、研究報告を行った。 ◆研究テーマ「少子高齢化への対応Ⅱ」</p> <p>イ ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州 ビッグデータやオープンデータに関する人材育成、情報交換、啓発活動などに取り組むため、福岡市、九州先端科学技術研究所と共同で設立した。 平成 28 年度は、勉強会やセミナーを開催した他、自治体のオープンデータ化施策支援等を実施した。</p> <p>(2) アジア交流ネットワーク形成</p> <p>① アジア交流プラットフォーム形成 広くアジア諸国の景観を紹介し表彰するアジア都市景観賞を国連ハビタット福岡本部を含む 3 団体と共催し、第 7 回の授賞式を中国・銀川市で開催した。（参加者：12 カ国、29 都市、約 500 名）</p> <p>② 国際視察・研修受入れ アジア各国から福岡市の公共施設等の視察・研修を希望する団体等に関する受入れの調整を行った。（43 カ国・地域、延べ 33 団体、710 名）</p> <p>③ 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン） 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の助成事業として採択を受け、インドネシア大学を中心とする学生等や中国高校生訪問団を招き、日本の先進的介護技術、新エネルギー開発等を紹介した。</p> <p>(3) 情報の収集・分析・加工・発信</p> <p>① 都市情報の収集・分析・加工・発信 平成 26 年度総合研究『「第 3 極」の都市』で選定した福岡市と類似性を有している 5 都市に、新たに 3 都市を加え、福岡を含む 9 都市のグローバル競争力を評価した報告書『「第 3 極」の都市 plus 3』を発行するとともに、ホームページにも掲載した。</p> <p>② 都市政策資料室の運営 アジア地域を含む都市政策関係図書、調査・研究成果、行政資料等を収集するとともに、一般への閲覧・貸出を行った。</p> <p>③ 刊行物の発行</p> <p>ア 都市情報誌『f U+』発行 まちづくりに関する刊行物として、都市情報誌『f U+』を発行し、市民、賛助会員等へ配布した。（発行部数 第 17 号 2,000 部）</p> <p>イ 研究紀要（日本語版）発行 本研究所の研究成果、国内外の都市政策に関する寄稿等を掲載する研究紀要の日本語版を発行し、大学、研究機関、賛助会員等へ配布した。（発行部数 第 18 号 550 部）</p>

区 分	内 容
	<p>④ ホームページの活用 本研究所の事業概要及び研究成果をホームページに掲載し、インターネットを通じて情報提供した。</p> <p>⑤ 都市セミナーの開催（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「グローバルに成長し続ける都市『福岡』」 (平成 28 年 7 月 14 日 参加者：99 名) ・「21 世紀のまちづくりの展望」 (平成 28 年 11 月 14 日 参加者：51 名) ・「福岡のグローバルネットワーク」 (平成 28 年 12 月 13 日 参加者：90 名) <p>⑥ ナレッジコミュニティの開催（4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東アジアのビジネスハブ」を目指して 福岡地域戦略推進協議会（FDC）の取組みご紹介」 (平成 28 年 4 月 27 日 参加者：16 名) ・「福岡市を数値化してみた データブック「FUKUOKA GROWTH 2016」で知ろう！福岡市の姿」 (平成 28 年 7 月 29 日 参加者：35 名) ・「中島、コンプリートしたってよ ～ポケモンGOと地域活性化の可能性を探ろう～」 (平成 28 年 10 月 11 日 参加者：32 名) ・「福博の街 花を飾っておもてなし ～花の美しい都市をめざして～」 (平成 29 年 3 月 21 日 参加者：30 名) <p>(4) 人材の育成</p> <p>① 市民研究員受入れ（6名） 市民から研究員を募り調査研究を行った。 ◆募集テーマ 「さらなるグローバル化時代に向けての福岡市のまちづくり」</p> <p>② 会員研究員受入れ（3名） 賛助会員や市職員から研究所のリソースを活用しながら研究を希望する者を募り、その活動を支援した。</p>
2 受託事業	<p>受託研究等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション提案に係る仕組み案試行・検証業務委託 ・福岡市総合計画データ集等作成業務委託 ・市立高校教育改革に関する調査等業務委託 ・福岡市農山漁村地域活性化推進事業ポテンシャル調査業務委託 ・「校区データ集」更新等業務委託 ・福岡地域戦略推進協議会事務局業務委託 ・中期経営計画策定業務委託 ・広川町における「留学生を活用したインバウンド・アウトバウンドビジネス創出事業」に係る留学生コーディネート及び外国人滞在ニーズ調査研究業務委託